

SKI JUMPING RULE GUIDE

かんたんルールガイド

資料提供: 美翔女運管事務局

どうやって勝敗は決まるの?

選手は2本のジャンプの合計得点で競います。

具体的には飛距離をポイントに置き換えた「**飛距離点**」と、

空中・着地での美しさやダイナミックさをポイントにした「**飛型点**」との合計。

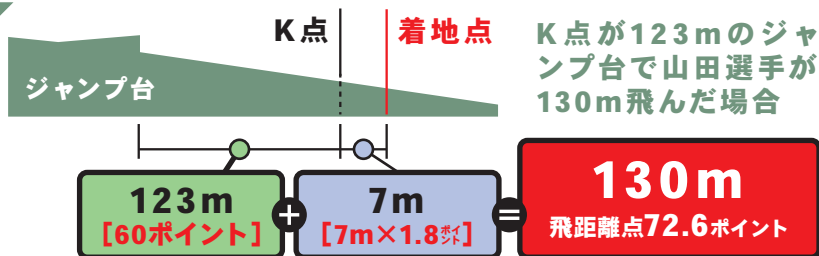
そこから「**ウィンドファクター**」「**ゲートファクター**」のポイントが加減されます。

同じ距離を飛んでも順位に差が出るのは、そのためです。

飛距離点

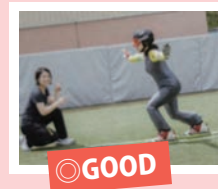
飛距離点の計算は、どんな台でもK点を基準とします。K点→60ポイントとし、各選手のK点との距離に応じて1mごとにポイント加減します。1mごとのポイントは台の大きさにより変わります。K点120mの場合は1.8ポイントになりますので、大倉山の場合は、123m以降は1m当たり1.8ポイント加算されます。

例

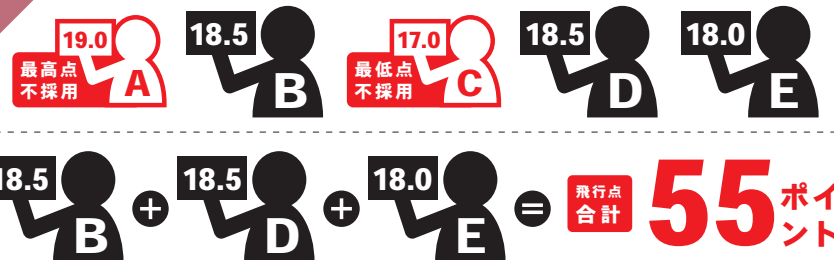


飛型点

空中での美しさ、正確さ、着地姿勢などを5人の飛型審判員が20点満点から0.5ポイントずつの減点法で採点します。公平に行う為、一番高い点数と一番低い点数を除いた3人の点数を合計したポイントが飛型点です。

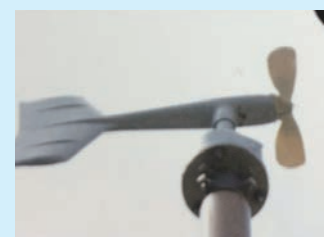


例



ウィンドファクター

スキージャンプは屋外競技です。そのため、風の状況により飛距離に差が出てしまいます。FIS(国際スキー連盟)では、より公平に競技を行うため、風速、方向によりポイントを加減するルール(加減のポイントはジャンプ台により異なります)。スキージャンプでは向かい風が有利、追い風が不利とされている為、向かい風の場合は減点、追い風の場合は加点となります。



ゲートファクター

気象条件が変わったり、飛び過ぎて危険な場合にスタートゲートの変更を行わなければならない。その為、基本となるスタートゲートから変更する場合、平等を保つためにポイントが加減されます。スキージャンプはスピードが速いと有利なためゲートを上げた場合は減点、スピードが遅いと不利なためゲートを下げた場合は加点される(コーチのオファーで下げた場合、選手はヘルサイズ95%以上飛ばなければ加点はされない)。

